

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こばんはうすさくら吹田教室

保護者等数(児童数) 58名 回収数 35名 割合 60.3%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32	1	0	2	・広々としている	テラスの環境設定として、参加自立エリア、自由遊び、運動スペース、リラクゼーションスペースなど、活動の内容や活動度合いによって空間を分けています。また、去年の末には個人活動の個室を新しく作りました。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	26	2	0	7	・十分な人数、専門性のある支援内容です ・言語聴覚士がいてほしい	言語聴覚士は4月より入社予定です。他事業所で言語聴覚士をおこなっていない児童を支援するためにセッションに参加いただくことが出来ます。外部研修や講座、勉強会への参加、資格の取得などを講義におこなっております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構成化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	30	0	0	5	・ロッカーやトイレ等すべて使いやすく工夫されています	当教室は車いすにも対応できるように、全てバリアフリーとなっております。チームメソッドの環境設定に基づき、活動内容によって空間をわけており、お子様がどこで何をすればいいのかが、明確にわかりやすいよう工夫しております。 また、音響場所、特等場所には、足形のイラストを配置し、色分けにより、視覚的にもわかりやすくしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	32	0	0	3	・きれいで明るい空間です	毎日支援終了後に清掃を行っております。午前クラスのみには、食べこぼしなどを取り除くため、床の清掃を行い、どの時間帯に子ども達が心地よく過ごせるよう環境のリセットをおこなっております。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	33	0	0	2	・いつも聞き取りをして作成されている	ご希望される保護者様には面談の実施を行い支援の調整を行っております。また、月に回はカンファレンス会議をおこない、児発管、保育士の他、理学療法士、臨床心理士などの専門職も含め、課題の整理、共有を行っております。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	30	0	0	5	・今子供に必要な支援内容が設定されている	ご希望される保護者様には面談の実施を行い支援の調整を行っております。また、月に回はカンファレンス会議をおこない、児発管、保育士の他、理学療法士、臨床心理士などの専門職も含め、課題の整理、共有を行っております。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	32	0	0	3	・トイレや着替えなど取り組んでいただいで参考になります	毎月2回カンファレンス会議をおこなって、課題の共有を行っております。細やかな変化やアプローチの方法などは常にPDCAサイクルを回しながら、共有、改善を行っております。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	32	2	0	1	・毎日違うプログラムで工夫されています	毎日、ご利用のお子様全員分の集団・個別の指導案を作成しています。支援終了後には、支援した結果やお子様の反応、次のステップなどを細かく書き込んで記録し、共有しています。練習中の課題や活動に関してはアプローチ方法を覚えて繰り返しおこなうこともあります。飽きがないよう、また、興味や関心の幅が広がるように日々新しいプログラムや教材、活動を取り入れられるように工夫しています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	17	2	3	13	・保育園に通園しています	地域の園や習い事などで関わりがある方もいらっしゃいますが、保育園や幼稚園の方などもちょうやいます。ご希望があればイベントや行事などで地域のお子様と交流する機会を検討いたしますが、現在のところは実施予定はありません。
保護者 への 説明 等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	34	2	0	1		ご契約時にご説明は一通り行いますが、複雑な部分もあため、よりわかりやすく丁寧に説明できるように心がけてまいります。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「わらわら支援」及び「発達支援」に基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	31	0	1	3		ご契約時にご説明は一通り行いますが、複雑な部分もあため、よりわかりやすく丁寧に説明できるように心がけてまいります。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	16	6	7	6	・家でこうしたらいい等アドバイスを していただいています	面談やお電話、LINEなどでご希望頂いた場合には実施させて頂いております。また、吹田市の支援センターで開催されているペアレントの講座への案内もしております。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	32	3	0	0	・コミュニケーションがとれて共有できています ・送迎の先生も細かく様子を伝えて下さりとても安心して頂いています	ご希望される保護者様とは定期的に面談やお電話でお話をさせて頂いて、必要に応じて幼稚園、保育園への訪問も行いました。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	26	6	2	1	・送迎時や面談などいつでも助言を行って もらえている	ご希望される保護者様とは定期的に面談の実施をおこなっております。また、LINEやお電話で幼稚園のことについて、簡単な助言や聞き取りもしておりますが、適切なお答えが出来るように日々勉強いたします。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	19	4	6	6	・保護者会などが開催されるのであれば教 えてほしい	昨年度は就園に向けての保護者会を1回、就学に向けての保護者会を2回、親子教室を1回、開催いたしました。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	31	1	0	3	・いつでも面談をしてくださる姿勢でとても安 心しています ・ラインでの連絡はいつもスピーディです	昨年7月より保護者様からご意見を頂戴し、毎月配布する予約表で面談をいつでもご希望頂けるようにしました。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	33	1	0	1	・いつも聞き取りをしていただいでいます ・ラインでの動画や写真嬉しいです	その日の活動の様子をLINEで毎回お写真でご報告させて頂いております。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	29	3	0	3	・毎月予定表を配布していただいでます ・毎月教室の会報が発行されています	ブログで自己評価の結果や活動概要などについて公表しております。毎月集団プログラム表をお渡しして活動の内容をお知らせしております。また、昨年7月より保護者様のご意見を頂戴し、毎月の教室運営を発信しております。それらでも行事予定や活動の概要などについてお知らせしております。連絡体制につきましては、教室と保護者様のみに限らせて頂いており、保護者様同士の連絡網は個人情報観点から作成していません。

	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	26	3	0	6		個人情報(鍵付き)の書庫に毎日保管しております。外への持ち出しは禁止しており、指定の場所でのみ閲覧できるようにしています。書類や写真などに關しても入れ間違いや送り間違いを防ぐため、名前とお顔を二重チェックするように工夫しています。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	18	3	1	13		5月と11月に消防署の指導のもと、消防訓練、地震・水災害の避難訓練を実施しております。災害時、感染症マニュアルなどは幼稚園、小学校の規定にあわせております。昨年台風時に配布いたしましたものが、これらをすべての保護者様にも公表、周知いたします。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18	1	0	16		5月と11月に実施しております。また、月に1度職員で防犯や災害時の対応について確認、共有をおこなっています。これらをすべての保護者様に公表、周知いたします。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	31	3	0	1		楽しく成長しています ・送迎時は泣いてしまうが通所後は楽しんでる様子です
	23	事業所の支援に満足しているか	35	0	0	0		療育園と同じような専門性のある支援内容からクッキングや外出もありとても素晴らしいと思います ・先生方には本当に良くしていただいています

643 43 20 101

80%

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすくら吹田教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	0	・ケガがないようにを最重視している	
	2	職員の配置数は適切であるか	8	3		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	11	0	・つどいや運動、自由遊びができる広いスペースと静かに集中できる個別スペースを分けている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10	0	・時間が許せば水廻りの掃除をする ・大掃除の日を定期的に設けてはどうか	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	2		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	1		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	6		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10	0		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	2	・子供のファイルを読み、把握に努めている	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	3		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	0		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	10	0		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10	0		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	2		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10	0	・療育プログラムサポートの担当をする時は深く観察している	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10	1		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	1		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	1		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2	1		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	1		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	7		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	1		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	0		・添乗業務の際には子どもの様子を伝え合い、他のメンバーにも報告するようにしている
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	1		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9	0		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0		・何かあれば児発管や職員に伝えている
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	11	0		・写真は携帯から削除している
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4		

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	2		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	0		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0		